

令和7年1月7日

研修だより 51号



## 袋井市研修主任者会での学び

小笠原康晃

先日、袋井市研修主任者会が行われました。

協議では、浅羽学園の研修主任が集まり、学園としての研修の取組について話し合いました。

話し合いの中で「聴くことの徹底」が話題に上がりました。

教師からの話。

友達の話。

どんな話であっても、途中でさえぎらずに最後までしっかりと聴くこと。

黙って静かに聴くこと。

発言者に視線を向けて聴くこと。

聴くことの大切さを再確認しました。

以前勤務していた袋井あやぐも学園では「聴くこと」「ボイスシャワー（教師の肯定的な声かけ）」に力を入れていました。

「聴くこと」と「ボイスシャワー」は、教師と子どもの関係、子どもたちと子どもの関係を良くすることに効果があるということでした。

聴くことに力を入れることが生徒指導上の効果にも繋がるそうです。

浅羽学園で今後取り組んでいくPBSとしても、取り組みやすい指導だと、話し合いの中で出てきました。

「相手の話を最後まで聴くことは、相手を大切にしていること」

これは教師側にしても、子ども側にして、同じです。

来年度、校内研修として、学びづくり部として、力を入れていきたいと思いました。